



▲タイミング良くボールをラケットに当てる練習をする参加者

## ボールを打つ楽しさを体験 テニス教室を開催

3月14日（土）、熊本甲佐総合運動公園で「テニス教室」が開催され、町民など44人が参加しました。参加者は、講師の町ソフトテニス協会や郡テニス協会、肥後銀行の職員の指導のもと、ボールを追いかけて汗を流しました。親子で参加した美濃田紗良さん（龍野小1年）は、「初めてやったけど、ボールが当たったときは楽しかったです」と笑顔で話しました。



▲町商工会のブースや露店などでにぎわう町商店街

## 商店街に春を告げる市開催 第355回甲佐町初市

甲佐の春の風物詩、第355回甲佐町初市が3月8日（日）、町商店街で開催されました。

歩行者天国となった通りには花木などの植木市、たこ焼きや焼きそばなどの露店が並び、来場者でにぎわいました。

町商工会による豚汁やぜんざい、ポップコーンの販売や、お米すくいチャレンジなどの催しがあり、子どもから大人まで多くの人を楽しみました。



▲来場者に本町の観光地や特産品などを紹介するブース

## 大阪市で甲佐の魅力をPR くまモンファン感謝祭に出展

大阪市で2月21日（土）に開催された「くまモンファン感謝祭2026inOSAKA」に本町と御船町の観光PRコラボブースを出展しました。観光資源や特産品など本町の魅力を発信するため、パンフレットなどを配布。町公式Instagramをフォローした限定200人には、特典でお米やエコバッグなどのノベルティを贈呈し、会場は終日にぎわいを見せました。



▲県央広域本部の松田土木部長（左）に要望書を手渡す甲斐会長

## 三本松甲佐線の早期整備を要望 一般県道三本松甲佐線道路整備促進期成会

一般県道三本松甲佐線道路整備促進期成会（甲斐高士会長）が2月27日（金）、県道三本松甲佐線を管理する県に対し、令和7年度における道路整備の要望活動を行いました。甲斐会長は「豪雨により甚大な被害を受けた。地域住民が安全・安心に暮らせる未来を築くため、被災地域の日も早い復旧と、要望箇所の早期の整備完了に向け取り組んでほしい」と述べ、県央広域本部の松田龍朋土木部長に要望書を手渡しました。

## 課題解決に向け相互協力 2社と連携協定を締結

本町は3月12日（木）、ウエダホーム（松本康男社長・御船町）、みらいコンシェルジュ（山浦章太社長・熊本市）とそれぞれ連携協定を締結しました。

同協定は、相互に連携、協力することで、地域の課題解決やまちづくりの推進に資することが目的。ウエダホームは、西寒野にある野球の屋内練習場と寮、アパートを購入予定で、宿泊施設としての活用を目指しています。甲斐町長は「来町者が宿泊する場所がないことが課題だった。一緒に解決していきたい」と話し、松本社長は「多くの方に利用してもらうため町の知恵と協力を仰ぎたい」と述べました。

みらいコンシェルジュは、同社子会社が空き家等の活用につなげる相談を受ける「甲佐町不動産相談所」を町商店街にオープン。町内に賃貸住宅を建設し、宅地開発も検討しています。山浦社長は「熊本市内からのアクセスの良さは魅力。自然環境も素晴らしい。町の商店街での新たな取り組みを含め、チャレンジする姿勢に共感した」と話しました。

## ウエダホームとの包括連携協定締結式



## 株式会社みらいコンシェルジュとの包括連携協定締結式



▲甲斐町長と協定書を取り交わしたウエダホームの松本社長（上）とみらいコンシェルジュの山浦社長



▲相撲甚句の勇壮な歌でオープニング（上）。講演会では講師の吉田寛子さんが三岳地区公民館の特色ある活動を紹介

## 活気ある公民館を目指して 第29回甲佐町公民館大会を開催

第29回甲佐町公民館大会が3月14日（土）、町生涯学習センターで開催され、町民など75人が参加しました。

『「人が集う」「人に学ぶ」「人と人を結ぶ」社会を目指して』を大会テーマとし、町公民館主催講座の相撲甚句による力強い歌で開幕。町公民館事務局による令和7年度の出前講座実績報告では、各地区で取り組む講座の事例や活動内容が報告されました。

講演会では講師の山鹿市立三岳地区公民館指導員の吉田寛子さんが『「子どもを元気に！地域を元気に！」～思いを行動へ、そして実現へ～』と題して講演。地域が一体となり、ふるさとを大切にする子どもを育む取り組みに力を入れている三岳地区公民館の活動をスライドで紹介。地域住民の協力で行う稲作「ふれあい田」や公民館での2泊3日の集団宿泊「ふるさと合宿」などの活動を通じ、「子どもたちの笑顔があふれることで地域も活気づきます。そんな活動をこれからも続けていきたい」と参加者に伝えました。